

## バイオマス燃焼により生成されるエアロゾルの物理化学特性と気候影響

### Physical and chemical characteristics of aerosols emitted by biomass burning and their impacts on climate

# 近藤 豊 [1]; 茂木 信宏 [2]; 竹川 暢之 [3]

# Yutaka Kondo[1]; Nobuhiro Moteki[2]; Nobuyuki Takegawa[3]

[1] 東大先端研; [2] 東大・理・地球惑星; [3] 東大・先端研

[1] RCAST, Univ. of Tokyo; [2] Earth and Planetary Sci., Tokyo Univ; [3] RCAST, Univ of Tokyo

バイオマスの燃焼は大量のエアロゾルを放出・生成することにより、地球環境に大きな影響を与える。これらの燃焼過程による生成されるエアロゾルの化学組成・発生量・混合状態は、エアロゾルが気候に与える影響を評価する際に極めて重要な要素である。これらの物理・化学量は、これまで室内実験や野外観測データなどを組み合わせて作成されてきた。昨年実施された NASA ARCTAS 北極圏航空機観測では、これらの量が初めて発生源近傍と長距離離れた領域で高精度で測定された。最新の測定結果、以前の結果との比較、化石燃料およびバイオマスの燃焼起源のエアロゾルの放射影響などについて述べる。